

単元のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>身近な気象の観察，実験などを通して，気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>気象とその変化について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，気象観測，天気の変化，日本の気象，自然の恵みと気象災害を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>気象とその変化について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。</p>	<p>気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p>

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・気象と私たちの生活の関連性について考える。</p> <p>・気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解する。</p> <p>・校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付ける。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

時 表	項目 〈項の目標〉	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 気象と私たちの生活 ◆2分野(4)ア(ア)㊲, イ 〈気象と私たちの生活の関連性について考える〉	規 準 方 法 A 基 準 支 援	<p>・気象と私たちの生活の関連性について、具体的に例をあげ、まとめることができる。</p> <p>・気象と私たちの生活の関連性について調べて理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>・気象と私たちの生活の関連性について調べてまとめ、表現している。</p>	<p>★私たちの生活と気象のかかわりについて興味をもち、それらを主体的に調べようとする。</p>
		<p>行動観察、レポート</p>	<p>行動観察、発表</p>	<p>行動観察、質問紙</p>
		<p>・気象と私たちの生活の関連性について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、知識を身に付けている。</p>	<p>・気象と私たちの生活の関連性について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</p>	<p>・私たちの生活と気象のかかわりについて興味をもち、いろいろな場面でのかかわりについて話し合いを進め、意欲的に調べようとしている。</p>
		<p>・気象と私たちの生活の関連性について調べてまとめ、知識を身に付けようとしている。</p>	<p>・気象と私たちの生活の関連性について調べてまとめ、表現している。</p>	<p>・私たちの生活と気象のかかわりについて関心をもち、それらを調べようとする。</p>
2 身近な場所の気象 A 気象要素 B 気象観測 C 気象要素と天気の関係 ◆2分野(4)ア(ア)㊲①, イ 〈気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解する。また、校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付ける。〉	規 準 方 法 A 基 準 B 基 準 支 援	<p>★気象観測を通して正しい観測器具の使い方や観測記録のとり方を身に付け、観測データを表やグラフなどに表わしている。</p> <p>★天気の変化と気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の変化と関係について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>★観測結果から、天気、気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の関連を考え表現することができる。</p>	<p>・いろいろな気象現象について興味をもち、気温、湿度、気圧、風向などの気象観測を行い、気象要素と天気の変化との関係を主体的に調べようとする。</p>
		<p>行動観察、ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>行動観察、質問紙</p>
		<p>・観測器具の原理がわかり、観測を通して正しい観測器具の使い方や観測記録のとり方を身に付け、観測データを表やグラフなどに表すことができる。</p> <p>・気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の変化と天気の変化との密接な関係について理解し、説明することができる。</p>	<p>・気温、湿度、気圧、風向の観測記録にもとづいて、それらと天気の変化との関係を見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</p>	<p>・天気の変化について関心をもち、気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の相互の関連に関心をもち、意欲的に調べようとする。</p>
		<p>・観測器具を正しく使い、観測記録をとり、表やグラフなどに表すことができる。</p> <p>・天気の変化と気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の関係について理解している。</p>	<p>・気温、湿度、気圧、風向の観測記録と天気の変化との関係を考え表現することができる。</p>	<p>・天気の変化と気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の関係を調べようとする。</p>
		<p>・正しく観測器具が使えるように指導し、観測結果を表やグラフにまとめさせる。</p> <p>・天気の変化と気温、湿度、気圧、風向などの気象要素の関係について理解させる。</p>	<p>・気温、湿度、気圧、風向の観測記録を提示し天気の変化との関係やどのように変化したかを考えさせる。</p>	<p>・天気の変化と気温、湿度、気圧、風向などの事例をあげ、これらの気象要素の関係を調べさせる。</p>

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>気象要素の中から気圧を取り上げ、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連づけて理解する。</li> <li>圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだして理解する。</li> <li>高気圧や低気圧のつくりと気象観測などのデータや天気図から、等圧線と地上付近の風の向きや強さについて理解する。</li> </ul>	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気圧と風についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	気圧と風について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気圧と風に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時 類	項目 〈項の目標〉	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 気圧とは何か A 気圧 B 圧力  ◆2分野(4)ア(ア)㊦, イ  〈気象要素の中から気圧を取り上げ、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだして理解するとともに、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連付けて理解する〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>★空気の質量、面積による圧力のちがいを実験器具を使って測定し記録している。</li> <li>★圧力を計算で求め、大気圧は空気の重さによって生じることや空気中であらゆる方向に同じ大きさで加わることを理解し、大気圧による現象についての知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果から、力の加わるようすのちがいは、単位面積に垂直に加わる力で表せることを見だし、大気圧の生じる理由について自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気圧や圧力に興味をもち、身のまわりの現象と関連づけて、見通しをもって主体的に調べようとする。</li> </ul>
	方 法	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
	A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気の質量、面積による圧力のちがいを実験器具を適切に使って測定し記録している。</li> <li>・圧力を計算で求めることや大気圧が空気中であらゆる方向に同じ大きさで加わることを理解し、高いところほど低くなることや身のまわりの現象に関して、空気にはたらく重力から説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果から、力が加わる面積とスポンジのへこみ方の関係を見いだすとともに、大気圧の生じる理由を空気の重さとの関係を推論し、適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力や大気圧に興味を示し、面積による圧力のちがいや空気の質量を調べる実験を意欲的に自ら進んで行っている。</li> </ul>
	B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気の質量、面積による圧力のちがいを実験器具を使って測定している。</li> <li>・圧力を計算で求め、大気圧が空気中であらゆる方向に同じ大きさで加わることを理解し、空気にはたらく重力から説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果から、力が加わる面積とスポンジのへこみ方の関係を見だし、大気圧の生じることを表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力や大気圧に関心を示し、面積による圧力の違いや空気の質量を調べようとしている。</li> </ul>
2 気圧配置と風  ◆2分野(4)ア(ア)㊦, イ  〈高気圧や低気圧のつくりと気象観測などのデータや天気図から、等圧線と地上付近の風の向きや強さについて理解する〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地の気象観測のデータをもとに、天気図用紙に天気図記号や等圧線を記入している。</li> <li>・等圧線の間隔と風力、高気圧や低気圧付近の風向・風力や気流の関係について理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★等圧線の間隔と風力の関係、高気圧や低気圧付近の大気の流れと雲の発生・消滅とを関連づけて考えまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★高気圧・低気圧・等圧線などに興味をもち、それらと天気の変化の関係を振り返りながら調べようとする。</li> </ul>
	方 法	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
	A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地の気象観測のデータをもとに、風向・風力・天気の3つの要素を天気図記号で記入するとともに、複数の地点の気圧から等圧線を正確に記入することができる。</li> <li>・等圧線の間隔と風力の関係、高気圧や低気圧付近の特徴を理解し、等圧線・風向・風力・気流の向きについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等圧線の間隔と風力の関係、高気圧や低気圧付近の大気の流れと雲の発生・消滅とを関連づけてとらえ、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧・低気圧・等圧線などに関心をもち、気象要素と天気の変化を関係づけ、日常生活とのかかわりも考えながら話し合いを行い、意欲的に調べようとする。</li> </ul>
	B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気図用紙に天気図記号や等圧線を記入することができる。</li> <li>・等圧線の間隔と風力の関係、高気圧や低気圧付近の特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等圧線の間隔と風力の関係、高気圧や低気圧付近の大気の流れと雲の発生・消滅とを関連づけてまとめ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧・低気圧・等圧線などに関心をもち、それらと天気の変化の関係を調べようとする。</li> </ul>

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と飽和水蒸気量と関連付けて理解する。</p> <p>・前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気や気団と関連付けて理解する。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>気象要素と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

時 類	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 空気中の水蒸気の変化 A 露点と湿度 B 雨や雲のでき方  ◆2分野(4)ア(イ)㊦, イ ◆2分野(4)ア(ウ)㊧, イ  ＜霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と飽和水蒸気量と関連付けて理解する＞	規 準	<p>★温度計や金属コップなどの器具を操作して露点を測定し、湿度を計算で求めている。</p> <p>★気温、露点、飽和水蒸気量と湿度の関係を理解し、霧や雲の発生について知識を身に付けている。</p>	<p>・雲や霧などの発生と気温、飽和水蒸気量、露点、湿度などの関係を考え、表現している。</p>	<p>★雲や霧などの現象に興味をもち、空気中含まれる水蒸気について調べようとする。</p>
	方 法	<p>行動観察、ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>行動観察、質問紙</p>
	A 基 準	<p>・温度計や金属コップなどの器具を適切に操作し、露点を正確に複数回測定することができ、湿度を計算で求めることができる。</p> <p>・気温、露点、飽和水蒸気量と湿度などについて理解し、どのようなときに水滴ができるかを説明すること</p>	<p>・雲や霧などの発生と気温、飽和水蒸気量、露点、湿度などを相互に関連づけ、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</p>	<p>・身のまわりの生活から雲や霧ができることに関心をもち、いろいろな事例を考えながら意欲的に原因を調べようとする。</p>
	B 基 準	<p>・温度計や金属コップなどの器具で、露点を測定することができる。</p> <p>・気温、露点、飽和水蒸気量と湿度などについて理解している。</p>	<p>・雲や霧などの発生と気温、飽和水蒸気量、露点、湿度などの関係を考えることができる。</p>	<p>・雲や霧がどのようにできるか関心をもって調べようとする。</p>
2 前線と天気の変化 A 前線 B 前線の通過 C 日本付近の大気の動き  ◆2分野(4)ア(イ)㊨, イ  ＜前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気や気団と関連付けて理解する＞	規 準	<p>・天気図記号や気象観測データを読みとることができる。</p> <p>・低気圧の動きとそれともなう前線変化について理解し、温暖前線と寒冷前線のつくりや前線通過前後の気温・湿度・気圧・風向・風力・天気の変化について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>★各気象要素の観測データから、前線の種類や通過の時刻を考え表現している。</p> <p>★高気圧や低気圧の移動と気圧や前線の変化について規則性や関係性をまとめ、表現している。</p>	<p>・前線と天気の変化について、観測結果や資料をもとに前線通過時の天気の変化を日常生活と関連付けて調べようとする。</p>
	方 法	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>行動観察、質問紙</p>
	A 基 準	<p>・天気図記号や気象観測データを正確に読みとることができる。</p> <p>・温暖前線と寒冷前線のつくりや前線通過前後の気温・湿度・気圧・風向・風力・天気の変化について説明することができる。</p>	<p>・各気象要素の観測データの時間変化を分析し、前線の種類や通過の時刻を推定してまとめ、表現することができる。</p> <p>・高気圧と低気圧の移動と気圧や前線の変化について規則性や関係性を見だして表現している。</p>	<p>・観測結果や資料をもとに前線通過時の気象要素の変化に着目し、天気の変化を日常生活と関連づけ、自分の考えをもとに話し合いを行い、探究し調べようとする。</p>
	B 基 準	<p>・天気図記号や気象観測データを読みとることができる。</p> <p>・温暖前線と寒冷前線の特徴を理解し、通過時の気象要素の変化を理解している。</p>	<p>・観測記録をもとに、通過した前線の種類や通過の時刻を考え、まとめることができる。</p> <p>・高気圧と低気圧の移動と気圧や前線の変化についてまとめ、表現している。</p>	<p>・前線と天気の変化に関心をもち、前線通過時の天気の変化を調べようとする。</p>
支 援	<p>・天気図記号や気象観測データを読めるように指導する。</p> <p>・温暖前線と寒冷前線の特徴や、通過時の気象要素の</p>	<p>・観測資料を提示し、気温や風向などの変化に着目させる。</p> <p>・高気圧と低気圧の移動や気圧や前線の変化について</p>	<p>・資料を提示し前線通過時にどのようなことが起こるか調べさせる。</p>	

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解する。</li> <li>気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の様子や海洋の影響に関連付けて理解する。</li> <li>気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解する。</li> </ul>	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の様子と海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	日本の気象の特徴について、見直しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	日本の気象の特徴に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 日本の気象の特徴 A 世界の中の日本の気象 B 日本の気象の特徴づけるもの ◆2分野(4)ア(ウ)㊲㊳, イ <気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の気団と大気の様子や海洋の影響に関連付けて理解する>	規準 <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気象と日本の気象を比較し、日本の気象の特徴をまとめることができる。</li> <li>日本の気象や日本付近の気団の性質と季節風の関係について理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	★日本の気象と日本付近の気団の性質を関連づけて、季節風や天気の変化などの関係について考え表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象の特徴と日本付近の気団や海洋の影響の関係について興味をもち、それらと天気の変化の関係を探究しようとする。</li> </ul>
	方法 行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
	A基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象の特徴と日本付近の気団の性質の関係について理解し、海陸風や季節風が発生する理由について、海洋が関係していることを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸と海のあたたまり方のちがいがから、海陸風の原理を考えると同時に、季節風や日本の気象の特徴と海洋の影響について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象と日本付近の気団や海洋の影響について関心をもち、これらと季節風や天気の変化の関係を日常生活と関連づけ、自分の考えをもとに話し合いを行い、主体的に調べようとする。</li> </ul>
	B基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象や日本付近の気団の性質と季節風の関係について理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象と日本付近の気団の性質を関連づけて、季節風や天気の変化などの関係について考え、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の気象の特徴について関心をもち、気団や海洋の関係を調べようとする。</li> </ul>
2 日本の四季 ◆2分野(4)ア(ウ)㊲, イ <天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解する>	規準 <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の気団と天気図・気圧・前線・天気・温度の変化などの特徴を調べ、まとめることができる。</li> <li>四季の気団と天気図・気圧・前線・天気・温度の変化などの特徴を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴を気団や天気図と関連づけてとらえ、考えをまとめ表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴に興味をもち、それらと気団との関係を天気図や気象衛星画像を活用して調べようとする。</li> </ul>
	方法 ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、質問紙
	A基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の天気図・気圧・前線・天気・温度の変化・気団の影響などのいろいろな特徴を理解し説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴と気団・天気図・気圧配置・雲画像など、さまざまな気象データを関連づけて分析し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴と、気団との関係を天気図や気象衛星画像を活用し、日常生活と関連づけ、自分の考えをもとに話し合いを行い、意欲的に調べようとする。</li> </ul>
	B基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の天気図・気圧・前線・天気・温度の変化などの特徴を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴を気団・天気図・季節風などと関係づけてとらえ、考えをまとめ表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季の天気の特徴に関心をもち、話し合いを行い、それらと気団との関係を天気図や衛星画像を活用して調べようとする。</li> </ul>
3 自然の恵みと気象災害 ◆2分野(4)ア(エ)㊲, イ <気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解する>	規準 <ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について理解している。</li> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について調べ、記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害の特徴を調べてまとめ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自然がもたらす恵みや気象災害に関する具体的な事例に進んでかわり、それらを科学的に探究しようとする。</li> </ul>
	方法 ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、発表	行動観察、質問紙
	A基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について理解し、事例をあげ説明できる。</li> <li>課題を理解し、自然がもたらす恵みや気象災害について調べ、記録する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について資料を探し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害に関心をもち、主体的に調べようとする。</li> </ul>
	B基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について理解できる。</li> <li>自然がもたらす恵みや気象災害について調べ、記録する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害の特徴を調べてまとめ、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然がもたらす恵みや気象災害を調べようとする。</li> </ul>

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

ねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・気象観測の結果などに基づいて、天気の変化を予想することができるとともに、実際の天気予報がどのようにつくられているか理解する。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>気象要素と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

項目 〈項の目標〉	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>明日の天気はどうか</p> <p>◆2分野(4)ア(イ)①, イ</p> <p>〈この単元で学習した内容をもとに、課題発見、計画立案、分析解釈、振り返りなどを行い、課題解決の過程を通じた探究活動を身に付ける。地域の天気の変化に課題を見つけ、学んだことを活かし気象観測の結果や気象情報をもとに課題を解決する。また、自分の予想を他者の予想や実際の天気予報と比較することで、結果から考え、振り返る。〉</p>	<p>規 準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を理解し、気象観測や気象情報をもとに、「明日の天気はどうか」の知識を身につけている。</li> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を理解し、気象観測や気象情報をもとに、「明日の天気はどうか」を予想することができる。</li> </ul> <p>方 法</p> <p>ワークシート、ペーパーテスト</p> <p>A 基 準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を理解し、気象観測や気象情報をもとに、これまでの知識を活用して「明日の天気はどうか」を予想し、理論的に説明することができる。</li> </ul> <p>B 基 準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を理解し、「明日の天気はどうか」を予想することができる。</li> </ul> <p>支 援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を説明し、天気の変化がどのように起こるか理解させる。</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴、気象観測や気象情報をもとに、「明日の天気はどうか」の考えをまとめ表現している。</li> </ul> <p>ワークシート、ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴、気象観測や気象情報を的確に活用し、「明日の天気はどうか」を、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴、気象観測や気象情報をもとに、「明日の天気はどうか」を、考えることができる。</li> <li>・これまでに学習した高気圧、低気圧の移動や前線の特徴を具体的にあげながら、「明日の天気はどうか」を考えさせる。</li> </ul>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★これまでに学んだ高気圧、低気圧の移動や前線の特徴について興味をもち、気象観測や気象情報をもとに、「明日の天気」を推定する探究活動を主体的に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>行動観察、質問紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学んだ高気圧、低気圧の移動や前線の特徴について関心をもち、気象観測や気象情報をもとに、日常生活と関連づけ自分の考えをもとに話し合いを行い、意欲的に情報を収集し課題を解決しようとする。</li> <li>・高気圧、低気圧の移動や前線の特徴について関心をもち、気象観測や気象情報をもとに、課題を解決しようとする。</li> <li>・日常生活と関連づけ、気象観測や気象情報をもとに、課題に関心をもちさせる</li> </ul>

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目